

令和4年度「学校教育自己診断」(アンケート)の実施結果および分析・考察について

1. 実施対象

- 生徒(むらの・共生)
- 保護者(むらの・共生)
- 教員(むらの)

2. 実施時期

- 令和4年11月

3. 実施方法

- フォーム作成ツール

4. アンケート回収状況

学年(生徒数)	回答数		
	生徒(回収率)	保護者(回収率)	教員
1年(32)	32(100%)	29(94%)	40(98%)
2年(32)	31(97%)	27(84%)	
3年(32)	32(100%)	32(100%)	
共生(15)	15(100%)	15(100%)	
R4 合計	110(99%)	103(93%)	40(98%)
R3 合計	103(94%)	78(71%)	35(85%)

5. 診断結果(アンケート結果)分析・考察について

- (1) 令和4年度学校教育自己診断 診断結果および分析・考察について【資料①~⑧参照】

別紙一覧

- 資料① 生徒(むらの・全学年)
- 資料② 生徒(むらの 6期生_3年生)
- 資料③ 生徒(むらの 7期生_2年生)
- 資料④ 生徒(むらの 8期生_1年生)
- 資料⑤ 保護者(むらの)
- 資料⑥ 教員(むらの)
- 資料⑦ 生徒(共生)
- 資料⑧ 保護者(共生)

6. アンケートの回収率について(4. アンケート回収状況を参照)

- (1) 昨年度の反省より回収方法を見直し、以下のような策を講じた。
- ① 生徒については、むらの・共生とも各学年で実施日を設定して一斉に実施した。(ほぼ100%)
 - ② 教員については、100%をめざすため実施期間(約2週間)を設け、アナウンスをして実施を促し

た。

回答人数の把握はできたが、フォーム作成ツールでは個別の実施状況を把握することが難しく、次年度は、回答率 100%となるよう個別に回答済の状況を確実に把握できるようにする。(R4: 98%)

- ③ 保護者には、以下のプリント 2 枚の配付等により、昨年度 (71%) よりも上昇 (94%) した。
- ・「操作手順」: フォーム作成ツールで診断 (アンケート) に回答するため図解でわかりやすく示したもの
 - ・「実施のお願い」: フォーム作成ツールで回答されたか否か (家庭数) のみが把握できるように、固有の QR コードを付けたもの
 - ・また、「実施のお願い」に「回答済連絡票」を付けて提出をいただき、家庭別に回答状況を把握して未提出の家庭には再度の協力依頼ができるようにした。

回答数 95

	生徒	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定 <参考>	備考	検証
13	先生は、将来の進路や職業について自分に合ったアドバイスをくれる。	56	36	2	1	0	96.8%	3.2%	-	8.2	88.6%		
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	56	35	2	2	0	95.8%	4.2%	-	0.3	95.5%		
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	39	51	3	2	0	94.7%	5.3%	-	7.2	87.5%		
11	地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかを学ぶ機会がある。	52	38	5	0	0	94.7%	5.3%	-	-0.7	95.5%		
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	52	37	5	1	0	93.7%	6.3%	-	1.6	92.0%		
14	先生は授業や行事でiPadを使って、わかりやすい学習をしてくれている。	52	35	5	3	0	91.6%	8.4%	-	-	-	新規	
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。(職場実習、オープンスクール、学校祭、スマイル&ミュージックなど)	53	33	8	1	0	90.5%	9.5%	-	-0.4	90.9%		
2	本校の行事は楽しい。(学校祭、校外学習、宿泊研修、スマイル&ミュージック、ミニ体育祭など)	47	37	10	1	0	88.4%	11.6%	-	2.1	86.4%		
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	38	46	9	2	0	88.4%	11.6%	-	3.2	85.2%		
4	先生は、自分のことをよく理解してくれている。	39	45	7	4	0	88.4%	11.6%	-	-	-		
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	52	32	8	3	0	88.4%	11.6%	-	-2.5	90.9%		
1	学校へ行くのが楽しい。	38	38	15	4	0	80.0%	20.0%	-	0.5	79.5%		
5	相談できる先生がいる。	40	34	16	5	0	77.9%	22.1%	-	-6.2	84.1%		
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	24	45	20	6	0	72.6%	27.4%	-	-5.8	78.4%		

・肯定率の高い順で表記
 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる
 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない
 ・前年度比±10%以上の項目に矢印(↗)を表記
 ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】
 ・以下の点を中心に分析・考察
 ① 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について
 ② 肯定率が70%未満の項目について
 ③ その他
 <分析・考察>
 ① 該当なし
 ② 該当なし
 ③ 全体について
 ・新規の必須項目・追加項目を含めて全体的には、一定肯定率は高い。日々の取組みの成果が一定現れていると考える。
 ・次年度もこの水準を維持しつつ、肯定率の下位の項目を中心として引き続き日々の取組みに尽力していく。
 ・項目10については、目標を確実に生徒と共有したうえで学校生活をすすめていけるよう、周知については、さらに工夫できる方法を考えていきたい。
 ・項目7「いじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる」、項目5「相談できる先生がいる」については、否定的な回答があるということを真摯に受け止める必要がある。

回答数 32

	6期生徒	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定<参考>	備考	検証
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	24	7	0	1	0	96.9%	3.1%	-	0.3	96.6%		
13	先生は、将来の進路や職業について自分に合ったアドバイスをくれる。	24	7	0	1	0	96.9%	3.1%	-	7.2	89.7%		
2	本校の行事は楽しい。(学校祭、校外学習、宿泊研修、スマイル&ミュージック、ミニ体育祭など)	17	13	1	1	0	93.8%	6.3%	↗	11	82.8%		1月(昨年度)研修旅行、6月校外演奏会などにも取り組んだ後なので、純粋に数値が上がって当然と捉えている。また、学年が進行するにつれて、生徒たち自身のLHR学年活動や各行事を楽しくかやスキルが向上している面もある。Smile&Musicの成果がでてきているのかもしれない。
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	16	14	0	2	0	93.8%	6.3%	-	7.5	86.2%		
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	20	10	1	1	0	93.8%	6.3%	-	0.6	93.1%		
11	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学ぶ機会がある。	20	10	2	0	0	93.8%	6.3%	-	-2.8	96.6%		
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	13	16	2	1	0	90.6%	9.4%	↗	14.8	75.9%		3年次に入り、進路実現に向けたリアルかつシビアな取り組みに本気で向き合っているのが当然の結果である。3年生になり、自分の進路を考える機会が増えたのが結果につながった。
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	19	10	3	0	0	90.6%	9.4%	-	-2.5	93.1%		
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。(職場実習、オープンスクール、学校祭、スマイル&ミュージックなど)	21	8	3	0	0	90.6%	9.4%	-	4.4	86.2%		
4	先生は、自分のことをよく理解してくれている。	14	14	2	2	0	87.5%	12.5%	-	-	-		
14	先生は授業や行事でiPadを使って、わかりやすい学習をしてくれている。	21	7	3	1	0	87.5%	12.5%	-	-	-	新規	
1	学校へ行くのが楽しい。	13	12	5	2	0	78.1%	21.9%	-	5.7	72.4%		
5	相談できる先生がいる。	16	8	6	2	0	75.0%	25.0%	↘	-11.2	86.2%		
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	9	12	10	1	0	65.6%	34.4%	-	-6.8	72.4%		LHR「年間スケジュール」の説明などで各計画書について触れるように工夫したが「結果には反映されなかった。基本的に生徒とは日常的な課題や進路相談などを中心に向き合うことが多く、各計画書については保護者同席の三者懇談での詳細説明になることもあり、生徒によっては直経しなかったり、理解が及ばなかったり、実感が持てなかったりするのではないかと

・肯定率の高い順で表記
 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる
 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない

・前年度比±10%以上の項目に矢印(↗)を表記

・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

・以下の点を中心に分析・考察

① 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について

② 肯定率が70%未満の項目について

③ その他

〈分析・考察〉

① 増:項目2、項目3 / 減:項目5

② 項目10

③ 全体として

・上記の項目に限らず回答の「あてはまらない」に1~2人の回答者がいる点は、学年として心に留めながら今後の指導にあたりこれまで通り生徒に寄り添っていきたい。

・全体的には肯定率は高く、むらのでの3年間を通しての生徒の成長過程も考えながら、結果については真摯に受け止めていきたい。

回答数 31

	7期生徒	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定 <参考>	備考	検証
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	13	18	0	0	0	100.0%	0.0%	-	6.7	93.3%		
11	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学ぶ機会がある。	21	9	1	0	0	96.8%	3.2%	-	3.4	93.3%		
13	先生は、将来の進路や職業について自分に合ったアドバイスをくれる。	20	10	1	0	0	96.8%	3.2%	-	0.1	96.7%		
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。(職場実習、オープンスクール、学校祭、スマイル&ミュージックなど)	15	14	2	0	0	93.5%	6.5%	-	0.2	93.3%		
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	21	7	3	0	0	90.3%	9.7%	-	-6.3	96.7%		
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	17	11	2	1	0	90.3%	9.7%	-	-6.3	96.7%		
4	先生は、自分のことをよく理解してくれている。	12	15	2	2	0	87.1%	12.9%	-	-	-		
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	8	19	2	2	0	87.1%	12.9%	-	7.1	80.0%		
14	先生は授業や行事でiPadを使って、わかりやすい学習をしてくれている。	15	12	2	2	0	87.1%	12.9%	-	-	-	新規	
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	14	12	4	1	0	83.9%	16.1%	-	3.9	80.0%		
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	20	6	3	2	0	83.9%	16.1%	↓	-12.8	96.7%		学年としての対応は日々適切に行われていると考えている。しかし、表面化しにくい事象については把握しきれない場合があるかもしれない。今年度は友人トラブルが多かったことがポイント減少の一因になっているのではないかと。
2	本校の行事は楽しい。(学校祭、校外学習、宿泊研修、スマイル&ミュージック、ミニ体育祭など)	18	7	6	0	0	80.6%	19.4%	-	-2.7	83.3%		
1	学校へ行くのが楽しい。	11	13	7	0	0	77.4%	22.6%	-	-5.9	83.3%		
5	相談できる先生がいる。	12	10	7	2	0	71.0%	29.0%	↓	-15.7	86.7%		進級時に学年団教員の構成が変わることも影響しているのではないかと。生徒にとってクラス付教員が「担任の代わり」という立場になく、あくまで学年付きの一人という認識がある気がする。担任が異性だと相談しにくい生徒がいるのかもしれない。

・肯定率の高い順で表記
 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる
 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない
 ・前年度比±10%以上の項目に矢印(↑↓)を表記
 ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】
 ・以下の点を中心に分析・考察
 ① 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について
 ② 肯定率が70%未満の項目について
 ③ その他
 <分析・考察>
 ① 減:項目5、項目7
 ② 該当なし
 ③ 全体として
 全体的には肯定率は高く、項目6については、教員の日々の指導について生徒の理解が得られていることが結果に現れていると捉えている。一方で下位項目を含む否定的な回答があることについては真摯に受け止め、生徒の実態を踏まえたうえで、これからも肯定率上昇につながるような取組を探っていきたい。

回答数 32

	8期生徒	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定<参考>	備考	検証
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	15	17	0	0	0	100.0%	0.0%					
14	先生は授業や行事でiPadを使って、わかりやすい学習をしている。	16	16	0	0	0	100.0%	0.0%				新規	
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	11	20	1	0	0	96.9%	3.1%					
13	先生は、将来の進路や職業について自分に合ったアドバイスをくれる。	12	19	1	0	0	96.9%	3.1%					
11	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学ぶ機会がある。	11	19	2	0	0	93.8%	6.3%					
2	本校の行事は楽しい。(学校祭、校外学習、宿泊研修、スマイル&ミュージック、ミニ体育祭など)	12	17	3	0	0	90.6%	9.4%					
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	11	18	3	0	0	90.6%	9.4%					
4	先生は、自分のことをよく理解してくれている。	13	16	3	0	0	90.6%	9.4%					
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	10	19	3	0	0	90.6%	9.4%					
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	13	16	2	1	0	90.6%	9.4%					
5	相談できる先生がいる。	12	16	3	1	0	87.5%	12.5%					
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。(職場実習、オープンスクール、学校祭、スマイル&ミュージックなど)	17	11	3	1	0	87.5%	12.5%					
1	学校へ行くのが楽しい。	14	13	3	2	0	84.4%	15.6%					
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	7	14	8	3	0	65.6%	34.4%					懇談以外にも個別面談をしているため個人の目標をわかっている生徒はいるが、「個別の教育支援計画・個別の指導計画」という名称と結びついていないのてはないかと考える。改めて担任と指導計画を面談等で確認をする。

・肯定率の高い順で表記
 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる
 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない
 ・前年度比±10%以上の項目に矢印(ハ)を表記
 ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】
 ・以下の点を中心に分析・考察
 ① 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について
 ② 肯定率が70%未満の項目について
 ③ その他
 <分析・考察>
 ① 昨年度比できないため該当なし
 ② 項目10
 ③ 全体として
 全体的に肯定率が高く、項目9、項目14においては100%の結果が得られている。4月からの日々の学習活動を中心とした学校生活全体、また校外実習の経験等も通してこの2項目については学ぶ機会が多くあることから、このような結果として現れていると考える。この水準を維持しつつ、下位項目についても今後も引き続き肯定率上昇につながる取組みを探っていきたい。

回答数 88

	保護者	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定 <参考>	備考	検証
3	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	68	18	1	1	0	97.7%	2.3%	-	-0.9	98.6%		
8	学校は子どもに生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	54	32	2	0	0	97.7%	2.3%	-	1.8	95.9%		
10	学校は、教育情報について提供の努力をしている。	49	37	1	1	0	97.7%	2.3%	-	4.6	93.2%		
4	学校は、子どもの障がいについて、よく理解している。	55	29	4	0	0	95.5%	4.5%	-	3.7	91.8%		
5	学校の生徒指導の方針に共感できる。	44	39	4	1	0	94.3%	5.7%	-	5.3	89.0%		
7	学校は日常の教育活動において、子どもの人権を十分に尊重している。	43	40	3	2	0	94.3%	5.7%	-	-1.6	95.9%		
6	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	54	27	4	2	1	92.0%	6.8%	-	0.3	91.8%		
9	学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	49	31	6	2	0	90.9%	9.1%	-	-3.6	94.5%		
2	子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている。	28	51	8	1	0	89.8%	10.2%	-	3.5	86.3%		
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	45	33	9	1	0	88.6%	11.4%	-	3.7	84.9%		

・肯定率の高い順で表記
 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる
 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない
 ・前年度比±10%以上の項目に矢印(↗)を表記
 ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】
 ・以下の点を中心に分析・考察
 ① 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について
 ② 肯定率が70%未満の項目について
 ③ その他
 <分析・考察>
 ① 該当なし
 ② 該当なし
 ③ 全体について
 ・全体的に肯定率が高い。本校の教育活動へのご理解をいただけているとともに、生徒たちの日々の学校生活の中における成長を実感いただけているのではないかと考える。
 ・次年度以降もこの水準を維持していけるように取組んでいく一方で、肯定率の下位項目や否定的な回答については、学校全体として改善できるように引き続き取組んでいく必要がある。

回答数 40

	教員	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定<参考>	備考	検証
1	本校では、学校祭・校外学習・宿泊研修などの学校行事は、生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫を行っている。	19	21	0	0	0	100.0%	0.0%	-	2.9	97.1%		
4	本校では、生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	31	9	0	0	0	100.0%	0.0%	-	8.6	91.4%		
6	本校では、いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	22	18	0	0	0	100.0%	0.0%	-	8.6	91.4%		
5	私は、カウンセリングマインドをもって生徒の相談に快く応じている。	28	11	1	0	0	97.5%	2.5%	-	0.4	97.1%		
7	本校では、生徒の人権を尊重して日常の教育活動を行っている。	20	17	3	0	0	92.5%	7.5%	-	1.1	91.4%		
8	教科の個別の指導計画の目標・手立て・評価の作成において、教務部を中心とする現行の体制は役立っている。	13	24	2	0	1	92.5%	5.0%	↗	18.2	74.3%		生徒一人ひとりの実態を的確に把握したうえで、個別の指導計画を適切に作成できていることや組織として教務部を中心に作成の手順等を全体で共有できていることを各教員が実感できているのではないかと考える。
3	私は、主体的・対話的で深い学びの実現をめざして授業を行っている。	18	18	3	0	1	90.0%	7.5%	↘	-10	100.0%		授業観察の中では、全教員が各教科等の授業内において「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざして授業を行うことが欠かせないことへの理解を深め、授業を行っていると感じている。ただ特に深い学びの実現に苦慮しているのではないかと考える。
10	本校は、教育活動に必要な情報について生徒・保護者や地域への周知に努めている。	14	22	4	0	0	90.0%	10.0%	-	1.4	88.6%		
2	私は、生徒の特性や実態をふまえて教員間で授業の内容や方法等について情報交換や検討する機会を持っている。	14	21	4	0	1	87.5%	10.0%	-	-3.9	91.4%		
9	本校では、外部への情報提供の手段として学校のホームページが活用されている。	11	24	5	0	0	87.5%	12.5%	-	-3.9	91.4%		
12	本校では、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画にいかしている。	5	27	6	1	1	80.0%	17.5%	-	5.7	74.3%		
11	本校では、初任者を含む教職経験1~2年めの者及び本校1年めの教職員に対する育成・支援が行われている。	4	25	6	4	1	72.5%	25.0%	-	9.6	62.9%		

・肯定率の高い順で表記
 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる
 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない
 ・前年度比±10%以上の項目に矢印(↗)を表記
 ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】
 ・以下の点を中心に分析・考察
 ① 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について
 ② 肯定率が70%未満の項目について
 ③ その他
 <分析・考察>
 ① 増:項目8 / 減:項目3
 ② 該当なし
 ③ 全体について
 ・全体的に肯定率が高い。今後もこの水準を維持しつつも、昨年度よりもポイントを下げた項目もあるため、肯定率の下位項目を含めて改善して肯定率上昇につながるよう努めていく。そのため、今後も生徒への指導・支援を中心とした教員間の連携と協働ができるよう組織(チーム)として取組んでいきたい。

回答数 15

	共生生徒	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定<参考>	備考	検証
8	「むらの」の先生は私たちのことを考えてくれている。	6	7	1	1	0	86.7%	13.3%	-	0	86.7%		
11	「むらの」では地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかをわかりやすく知らされている。	6	7	2	0	0	86.7%	13.3%	↗	20	66.7%		火曜日に各避難訓練を設定したことが良い結果となったのではない。
7	「むらの」の先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	5	7	2	0	1	80.0%	13.3%	-	6.7	73.3%		
10	「むらの」での自分の個別の指導計画の目標を知っている。	7	5	0	3	0	80.0%	20.0%	-	6.7	73.3%		
4	「むらの」の先生は、自分のことをよく理解してくれている。	5	6	3	1	0	73.3%	26.7%	↘	-13.3	86.7%		朝・帰りの限られたSHRで十分な時間をもって対応できることが難しいのが現実である。
5	「むらの」には、相談できる先生がいる。	5	6	2	2	0	73.3%	26.7%	-	6.7	66.7%		
6	学校生活について「むらの」の先生の指導は理解できる。	6	5	3	1	0	73.3%	26.7%	↘	-13.3	86.7%		むらのと設置校のそれぞれのルールが異なり、その中で指導が行われていることから、生徒にとってはそれを理解するのが難しいのではない。
9	「むらの」では、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	5	5	3	2	0	66.7%	33.3%	↘	-20	86.7%		自己診断を実施した時期が学習する前であったことも関係していると思われるが、次年度は実施時期や内容について検討したい。
2	「むらの」の行事は楽しい。(校外学習、ミニ体育祭など)	3	6	3	3	0	60.0%	40.0%	↘	-40	100.0%		2・3年生に関しては、まだ校外学習へ参加していない時期で回答していることが原因ではない。
3	「むらの」では、将来の進路や生き方について考える時間がある。	4	4	5	2	0	53.3%	46.7%	↘	-33.3	86.7%		実習科目を通して、進路選択や生き方(働く上で必要な力とは…等)は身につける経験の機会はあると考えている。ただ、じっくりと時間を設けてワークシート等で考えたり学ぶ機会はある現状はあるのかという結果になっているのかと考える。
1	火曜日に「むらの」へ行くのが楽しい。	2	5	2	6	0	46.7%	53.3%	↘	-20	66.7%		週5日間のうち1日だけの登校で楽しいと思えない生徒もいるのではない。

・肯定率の高い順で表記
 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる
 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない
 ・前年度比±10%以上の項目に矢印(↗)を表記
 ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】
 ・以下の点を中心に分析・考察
 ① 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について
 ② 肯定率が70%未満の項目について
 ③ その他
 <分析・考察>
 ① 増:項目11 / 減:項目1、項目2、項目3、項目4、項目6、項目9
 ② 項目1、項目2、項目3、項目9
 ③ 全体として
 ・回答母数が少ないため、率の増減の幅は大きくなること、週に1回の登校の中で取組める内容が限られており、実習科目を中心とした取組みの中で難しいこともあるのが現状ではある。しかしながら、項目11の検証にもあるように、例えば項目9の実施時期等については、可能な範囲で改善に向けた工夫ができないかを検討していく等、肯定率の下位項目については、肯定率上昇につながるような取組みを探りたい。

回答数 15

	共生保護者	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定<参考>	備考	検証
9	「むらの」は、教育情報について提供の努力をしている。	6	8	1	0	0	93.3%	6.7%	-	-6.7	100.0%		
10	「むらの」は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	5	9	0	1	0	93.3%	6.7%	-	-6.7	100.0%		
4	「むらの」の生徒指導の方針に共感できる。	3	10	1	1	0	86.7%	13.3%	-	6.7	80.0%		
6	「むらの」は日常の教育活動において、子どもの人権を十分に尊重している。	6	7	2	0	0	86.7%	13.3%	-	6.7	80.0%		
7	「むらの」は子どもに生命を大切にす心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	5	8	2	0	0	86.7%	13.3%	↘	-13.3	100.0%		生命について学ぶ機会や職場実習等よりもアンケートの実施が先であったためではないか。
2	「むらの」の校外学習などの学校行事は、子どもにとって魅力あるものになっている。	8	4	2	1	0	80.0%	20.0%	-	0	80.0%		
5	「むらの」は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	5	6	3	1	0	73.3%	26.7%	↘	-26.7	100.0%		今年度、特にいじめについての相談は受けていないので、学校が対応しているかどうかの判断が難しいのではないかと、いじめて困っていることが前提の質問のため保護者としては回答が難しいのではないかと。
1	子どもは「むらの」へ行くのを楽しみにしている。	5	5	2	3	0	66.7%	33.3%	-	6.7	60.0%		生徒の中には、障がい受容ができていない生徒がおり、むらのへの登校を受け入れ難く感じている生徒によって登校すること自体が苦痛になっていたり、楽しいと思えたりしていない様子から保護者としてこのように感じておられるのではないかと。
3	子どもは「むらの」の授業がわかりやすく楽しいと言っている。	6	4	4	1	0	66.7%	33.3%	↘	-13.3	80.0%		実習前の事前学習等の取り組み等がなかったためではないかと。
8	「むらの」の授業参観や学校行事に参加したことがある。	4	5	3	3	0	60.0%	40.0%	↘	-20	80.0%		アンケートの実施時期には、まだ校外学習や学校祭も実施しておらず、授業参観も7月の実施のみであり、参観への参加も6割程度だったためこのような結果だったのではないかと。

・肯定率の高い順で表記
 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる
 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない

・前年度比±10%以上の項目に矢印(↘)を表記

・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

・以下の点を中心に分析・考察

① 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について

② 肯定率が70%未満の項目について

③ その他

〈分析・考察〉

① 減:項目3、項目5、項目7、項目8

② 項目1、項目3、項目8

③ 全体として

昨年度は、アンケートの回答率が33%(5名)、今年度は100%(15名)であり、前年度と比較することは難しいところがある。ただ、肯定率の高い項目がある中で肯定率の下位項目も一定数あるため肯定率上昇につながるような取組みについて探りたい。

特に回答が難しいであろう質問項目については、「わからない場合は無回答でもよい」とし、「わからない」「どちらともいえない」等の回答項目を設けることも今後検討が必要かもしれない。